

第三回中間報告書
(報告期間 2016 年 12 月 31 日～2017 年 3 月 31 日)

国際ロータリー第 2710 地区
2016-2017 年度 地区補助金奨学生
三澤志織

1. 報告書提出日：2017 年 3 月 31 日
2. 基本情報
 - 氏名：三澤志織
 - 派遣ホストクラブ及びカウンセラー：広島西ロータリークラブ、梶本政明様
 - 受入ホストクラブ及びカウンセラー：Rotary Club of Monterey Pacific, Ms. Lisa Luscombe
 - 教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey
 - 専攻分野：MA in Translation

冬休みが1月末に終了し、2学期目に入りました。今月は、約1週間の春休みとその前後に中間試験があり、今週で試験も無事終了したところです。今回は、冬休み中の活動と、新学期についてご報告いたします。

学業面での成果

冬休み中の1月は、近くにあるコミュニティ・カレッジで開講されていた約3週間の短期英語コースに通っていました。せっかくの長い休みを活かしたいという思いがあったのと、教授にもモントレイにいるなら気分転換にもなるし何かコースでも受講してみても、と勧められたからです。受講したコースは、スピーキングやリスニングが中心だったのですが、教材も旬のものが使われており充実していました。授業の方法も自分で効果的に学習していくためのヒントを学べるようなもので、発見がありました。また、偶然なのですが、コースを担当する講師の方は私の学校 MIIS でも教鞭をとっている方で、さらに受け入れクラブのカウンセラーの Lisa さんのお知り合いでした。そのようなこともあり、講師の方は特にきめ細かく指導してくださり、さらに授業外でも個人的に時間をつくって通訳の勉強を少し助けていただけるなど、非常に恵まれた経験でした。長い休みでしたが、少しのんびりしながら学期中になかなか手のつけられなかった英語自体の勉強やその他の復習や予習にじっくりと取り組むことができたので、とても充実した期間となりました。

新学期は1月の最終週からはじまりました。前学期の授業内容は基礎的なことが中心でしたが、今学期はより本格的になりました。難易度が上がり、四苦八苦していますが、授業はより面白く、充実しているのを感じます。授業数についても、どうしても取りたい授業が多く、前学期よりも増えました。今学期から新しく取り始めた授業は、同時通訳と **Multilingual DTP(Desktop Publishing) and Audio/Visual Localization** です。後者は、翻訳やローカリゼーションの仕事で役立つソフトウェア（フォトショップ、イラストレーター、インデザイン、字幕翻訳用ソフトウェアなど）の使い方を学ぶというものです。これについては、以前からずっと学びたいと思っていたことだったので、少し忙しくなるのを覚悟で受講を決めました。教材はローカリゼーションの専門家である教授が、実際に受けた仕事に基づいて設定されているものが多く、とても実践的です。受講して正解でした。同時通訳は、英語から日本語方向のものについては正式に受講し、日本語から英語方向については、聴講をすることにしました。現時点では逐次通

訳の方にまず集中的に取り組みたいからです。聞いて訳すのを同時に行うのはやはり難しいですが、教授によると、スポーツと同じでトレーニングを重ねれば、あるとき自然に聞く意識と話す意識が分かれて普通に出来るようになる 때가くる、とのことでした。この言葉を信じて頑張りたいと思います。

3月に入ると、初旬に学校主催のキャリアフェア、中旬から下旬にかけては中間試験と春休みがあり、時間の経過が速く感じました。キャリアフェアは、私の所属する翻訳・通訳・ローカリゼーション管理学部(Translation, Interpretation, Localization Management)に特化したもので、毎年この時期に行われる学校の目玉行事の一つです。学校近くのホテルで行われ、大手の翻訳・ローカリゼーション会社の他に Facebook, Netflix, Honda などその他様々な主要企業も参加していました。私のような1年目の学生は、夏休みのインターンシップを、2年目の学生は卒業後の就職先を探す機会となります。私もクラスメイトと一緒に参加したのですが、様々な企業の方から話を聞き、インターンシップの応募もいくつかすることができました。ここで応募したものやその他のものも含め、今月は授業や勉強の合間や春休み中に、インターンシップの試験や面接を受けることとなり、慌ただしい1ヶ月でした。春休み中は、そのほかにも翻訳関係のボランティア、中間試験の準備などに取り組みました。ボランティアは、同じプログラムの先輩が授業の一環で行われている、翻訳・ローカリゼーションのプロジェクトのために、翻訳エディター兼チェッカーの仕事をさせていただきました。他人の翻訳をチェックし、編集する作業は、思っていたよりも随分と難しいことがわかったことや、その作業を通じて自分の翻訳を改めて見つめ直すきっかけにもなり、とても貴重な経験でした。春休みの前後には、中間試験が行われ、今週無事終了しました。前学期と比べ、試験は随分と難易度が上がり、自分の出来なさに少し落ち込みました。ですが、試験を受けることで、期末試験に向けて取り組むべき課題がより明確になったと思います。学期末に向けて、良い結果が出せるように引き続き頑張りたいと思います。

受入地区でのロータリーとの関わり

引き続きミーティングにはよく参加させていただいています。最近では、少し前にクラブに入会された、あるロータリアンの方が日本に留学経験があり、とても親近感をもって接してくださっていてありがたいです。それ以外では、1月28日（土）に受け入れクラブである Rotary Club of Monterey Pacific の主催する「Cioppino & Vino」という募金ためのオークションイベントが開催され、ボランティアとして手伝いをさせていただきました。ワインと、Cioppino というイタリア料理のスープを中心としたディナーを召し上がっていただきながら、オークションが行われるというものです。私は食事をサーブする係をさせていただきました。この係のために、近隣にあるカリフォルニア州立大学モントレーベイ校（California State University, Monterey Bay [CSUMB]）のロータラクトのメンバーの方々もボランティアとして来られており、一緒に手伝わせていただきました。とても楽しい経験でした。学期が始まると、なかなか授業と重なるために、クラブの活動への参加が難しいのですが、今後も可能な範囲で参加していきたいと思っています。



写真：オークション出品物（一番左はカウンセラー Lisa さんが出品されたもの。Irish がテーマだそうです。Irish のお酒、リキュール入りチョコなど）



写真：CSUMB ロータラクトのメンバーと開始前に

また、小さなことですが、とても嬉しかったことがあります。私は1月上旬に誕生日だったのですが、当日にはロータリアンの方々から暖かいバースデーメッセージのメールをたくさんいただき、翌週のミーティングでは、プレゼント（ロータリーのスーツケースベルトでした）までいただきました。皆さんの心遣いがとても嬉しく、ありがたかったです。



写真：CSUMBのロータクトのメンバーと終了後、一緒にCioppinoをいただきました

直面している課題、今後の目標

現在の大きな課題は、期末試験に向けての準備と、インターンシップの確保です。今学期の成績は、ほとんど期末試験により決まるという位置づけの非常に重要な試験なので、気を引き締めて頑張りたいと思います。特に、中間試験の感触があまり良くなかったため、自分に足りない力を出来るだけ伸ばせるよう、しっかりと計画を立てて集中的に取り組みたいです。インターンシップについては、上記で少し触れましたが、2月の中旬から、キャリア・アドバイザーに履歴書や志望動機書の添削や面接のアドバイスをしてもらい準備を始めました。アドバイザーはご自身もMIISの翻訳通訳科の卒業生で、とても経験豊富で成功されている方です。アドバイスも的確で、とても助けられています。応募はキャリアフェアの少し前の2月下旬から徐々にはじめ、3月中にかけて、試験や面接を受けているところです。電話面接もあり、私にとってはハードルが高いですが、期末試験に近づく前に出来るだけはやく確定させることが目標です。

その他

冬休み中の1月半ばに引越しをいたしました。より手頃で住みやすい部屋が見つかったため、決断しました。学校からの距離も以前とほぼ変わらず快適に生活ができています。新しい大家さんは偶然にも日系二世の方でした。日本語は話せませんが、とても親近感をもって接してくださっています。